

アブのなかま

アブ科やムシヒキアブ科に代表されるグループです。「がっしりした体」と「短い触覚」が主な特徴です。ハエのなかまとよく似ているので、慣れないうちは見間違いやすいです。



① アシナガバエ科

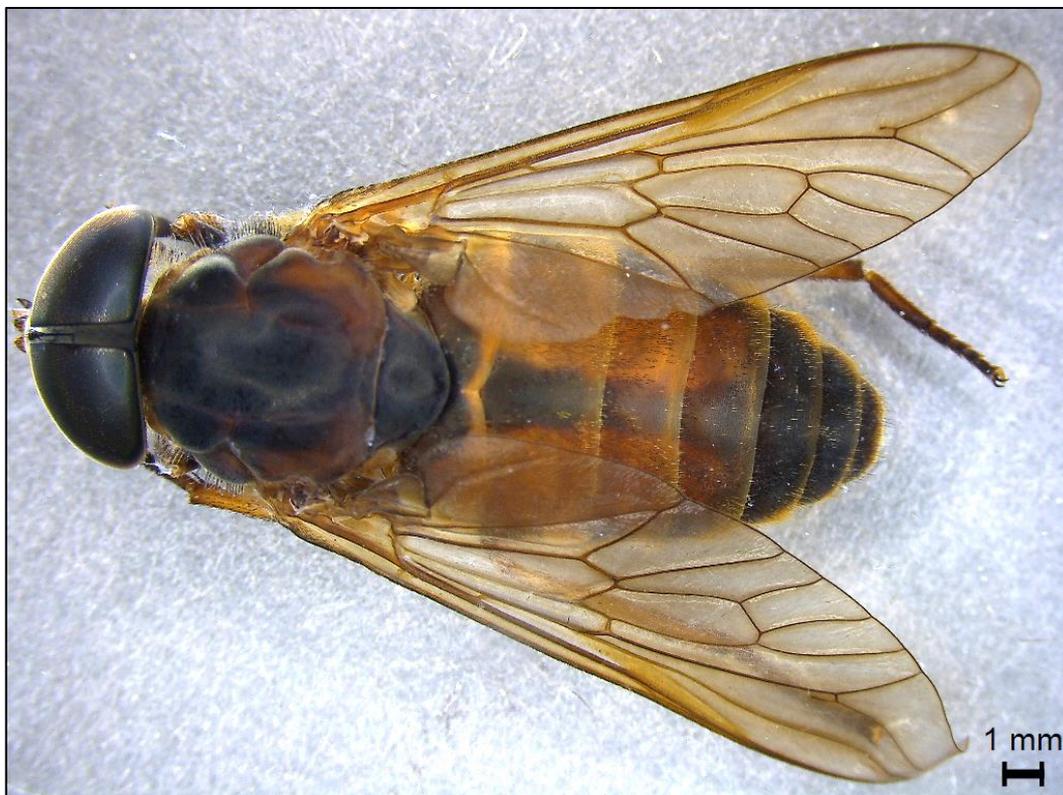
“アシナガ”というだけあって、足が長いです。下の写真のように、体が金属のような色をした種類が多いですが、そうでない種類もあります。





②アブ科

夏に山へ行くと、大きな羽音を立てて近づいてくることがあります。体も大きいので恐ろしいです。人の血を吸う種類がいて、吸われるとかゆくなります。



③オドリバエ科

夏に川へ行って、水しぶきが上がっている岩場を見ていると、群れて飛んでいるオドリバエ科に出会うことがあります。その様はまさに“踊る”ようです。ちなみに、山にもいます。



コラム9 蚊柱その3

オドリバエ科も蚊柱を作ることが知られています。オドリバエ科はオスではなくメスが蚊柱を作り、オスは自分で狩った餌を抱えて蚊柱に突っ込みます。そして、意中のメスに結婚指輪のごとく餌をプレゼントします。情熱的です。このあたりのことは「ハエ学—多様な生活と謎を探る」という本に詳しく書かれています。ご興味がある方は読んでみてください。



④クサアブ科

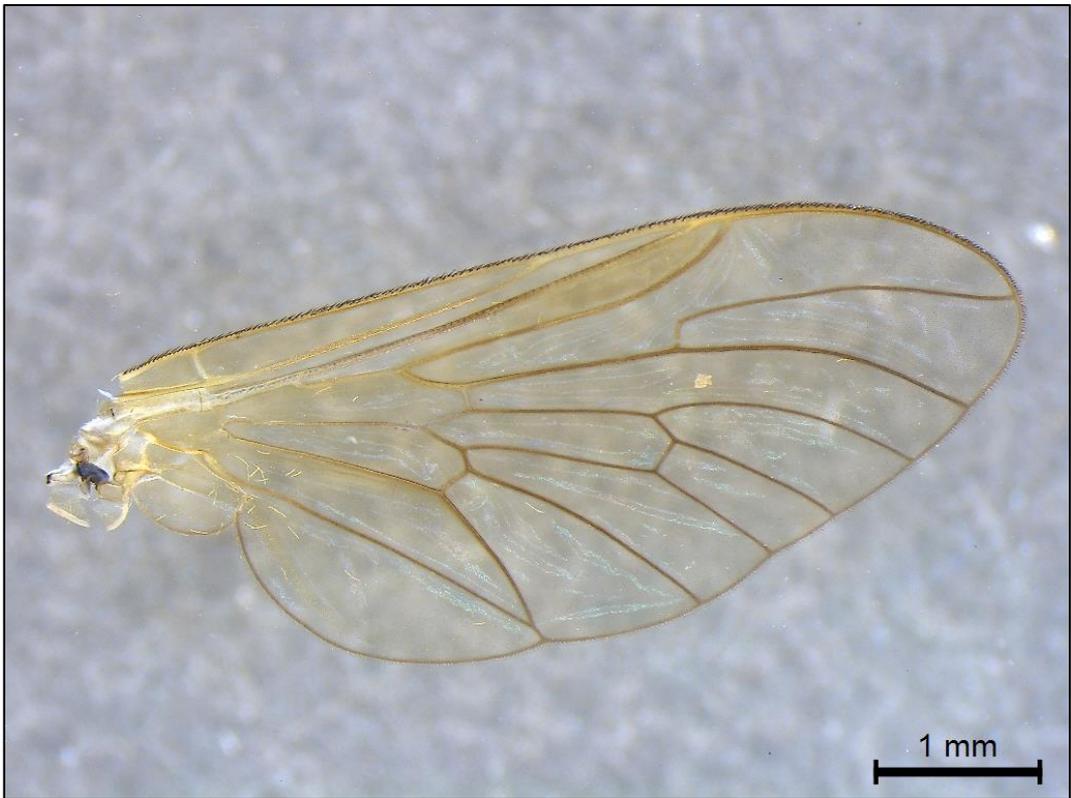
市街地ではあまり見かけないハエです。下の写真の種類は体が大きく頑丈そうです。



⑤ シギアブ科

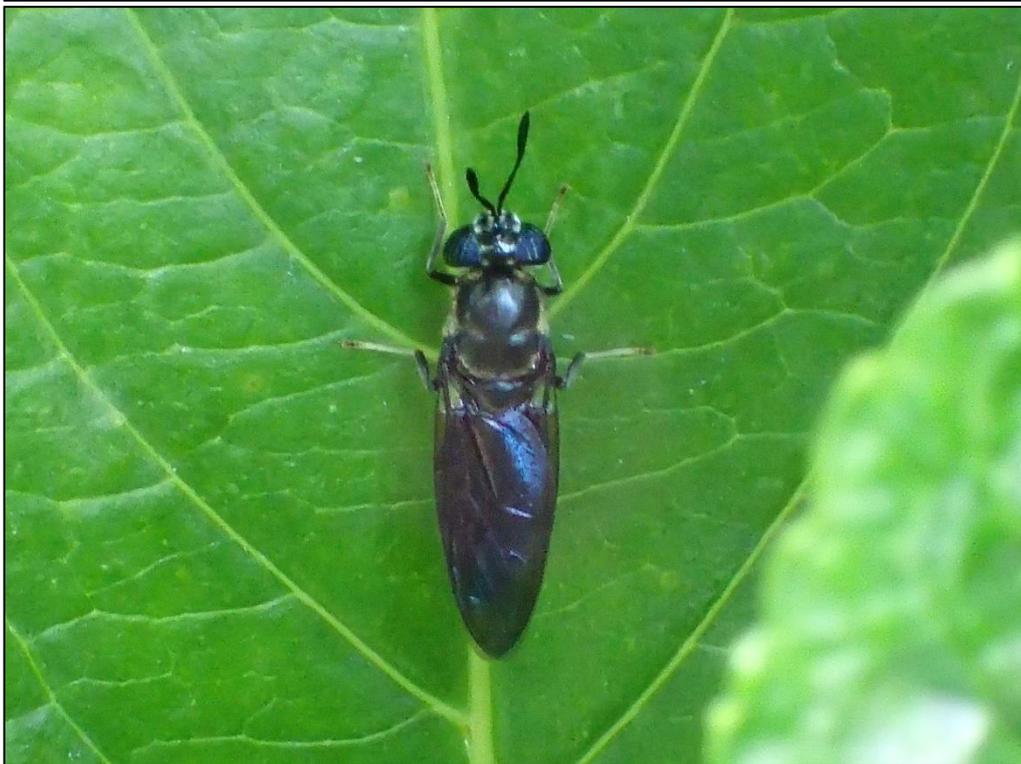
下の写真のシギアブ科は体に金色の毛が生えていますが、黒色の毛や灰色の毛が生えているものなど様々です。





⑥ ミズアブ科

ミズアブ科の代表的な種類にコウカアブ（上の写真）やアメリカカミズアブ（下の写真）がいます。どちらもごみ溜めや便所の近くでよく見られるハエです。野菜くずを外に放置しておくと、どこからともなくやって来ます。





⑦ムシヒキアブ科

がっしりしていて強そうなハエです。人の血を吸うことはないですが、近くに來られると恐ろしいです。優れたハンターで他の昆虫を捕まえて食べます。



